

パブリック・サービス研究分科会 2009年4月定例会 「場としての図書館の方向性」研究グループ報告書	
日時	2009年4月20日(月) 16時半～17時
場所	成城大学図書館
記録	小松(日赤看護大学)
参加者	小松(東京家政学院大学)、寺久保(東海大学)、小松、他1名
欠席者	川端(多摩大学)

4月から、小室さん(学習院大学)が異動により退会の為、上記計5人での活動継続を確認した。

1. 研究テーマについて

以前より継続審議中の研究テーマの変更について、提案2件の絞込みを行った結果、「図書館員のための Google 講座」より「図書館認証評価についての考察」の方が多く支持された。

既存の各館における自己点検報告に見られるように、現状分析等の評価そのものが目的となっている状況を打破し、業務上の課題の解決に真に必要とされる改善体系について、従来の枠組みに捉われず、利用者教育や情報リテラシー、運営や財務、PDCA サイクルに基づく経営面にも裾野を広げ、独自の評価基準項目策定を試みてはどうかとの方向で話し合いを持った。

2. 研究の進め方について

研究過程においては、認証評価機関及び大学評価基準の図書館評価項目を精査し、さらに海外の図書館の進んだ事例も参考とし、長期的な視点から将来計画を見据えた評価報告書作成を可能とする土台となるような評価基準項目を検討してはどうかとの意見が出された。

3. 今後のスケジュールについて

4～5月頃にテーマを確定し、6～7月は8月の研究合宿で具体的な成果が出せるよう準備期間とし全体的に集中的に詰めていくことで合意した。

以上